

【教科名】 音楽科

(1) 目指すもの

様々な音楽的体験を通して音楽の楽しさを知り、感受性を養っていく。さらに、音楽的な表現力を身につけ、音楽を通して、日常生活に必要な力（記憶力、集中力）を身につける。鍵盤楽器の授業を通じて、創造性を養い、合唱を通じて協調性を養う。中学校では合唱祭や、音楽観賞教室を通じて社会のマナーを身につけさせる。

(2) 授業の進め方

中学、高校で共通な内容

- 讃美歌 授業の導入に用い、讃美歌を歌う事を日常とさせる。
- 聴音 授業の導入に実施。集中力、記憶力を身につけさせる。
- 合唱 各学年の力量に合わせ、3部合唱を基本にしながら、4部、アカペラ等合唱をさせ、協調性や表現力を身につけさせる。
- オルガン 音楽体験の差により教材を選ばせ、鍵盤楽器になじませ、読譜力をつけ、創造性を養わせる。(中学は右手と左手、高校は足鍵盤も含む3段譜)
- 観賞 教科書、音楽史を通しての音楽鑑賞。

中学のみの内容

- 楽典 使用教科書、オルガン実技等を通して、各種楽典を学ばせる。

高校のみの内容

- 音楽史 音楽の歴史を学ばせるのみでなく、作曲家の作品を鑑賞し一般常識を養う。

(3) 使用教材について

中学

明治学院校歌

讃美歌

音楽の友社「子供のソルフェージュ」

全音楽譜 「8小節のソルフェージュ」

ドレミ出版「大人のためのピアノ教本」第1巻～第5巻

教育芸術社「中学生の音楽Ⅰ」

教育芸術社「中学生の音楽Ⅱ上」

教育芸術社「中学生の音楽Ⅱ下」

高校

明治学院校歌

讃美歌

ドレミ出版「聴音書き取りの自習」

教育芸術社「高校生の音楽Ⅰ」

カワイ出版「ドリマトーン メソード」Book 1～Book3

音楽史 教科自作のプリント

年間指導目標	様々な音楽的体験を通して、音楽の楽しさを知る。
--------	-------------------------

学期	時期	使用教材	学習内容
1学期	中間	①日本基督教団出版局「賛美歌」 ②生徒手帳「明治学院校歌」 ③音楽の友社「子供のためのソルフエージ 1a」 ④教育芸術社「中学生の音楽1」 ⑤ドレミ出版「大人のためのピアノ教本」 (個別のグレードでの教材) ⑥その他、必要とした教材プリントなど	①授業の導入での賛美歌斉唱 ②明治学院校歌 ③五線譜、音符と休符の意味・名称・長さ・書き方、小節線・終止線・拍子記号の意味や書き方、ト音記号の書き方など、楽譜作成のための基本的な楽典 ④「We'll Find The Way」(教科書) 「明日という大空」(教科書外資料) 上記2曲を用いて、歌の発声・姿勢・歌の楽しさを教える ⑤鍵盤演奏に必要な楽典や1人1台与えられている電子オルガンを用いて、それぞれのレベルに合わせた鍵盤楽器の基本的な姿勢・楽典・グレード別の指定曲の練習。 ⑥ヴィヴァルディ作曲「四季」より「春」 作曲家の生涯、曲について(特にソネットや弦楽器)、感想文
	期末	①日本基督教団出版局「賛美歌」 ②音楽の友社「子供のためのソルフエージ 1a」 ③教育芸術社「中学生の音楽1」 ④ドレミ出版「大人のためのピアノ教本」	①授業の導入での賛美歌斉唱 ②4小節の聴音課題および小テスト ・・・1点ハ～1点トまでの、四分音符の記譜法 (教員が階名を読み、生徒に音符を書かせる練習) ③「夏の思い出」(教科書外資料)・・・歌唱実技テスト ④グレード別の指定曲・・・オルガン実技テスト ⑤シューベルト作曲「魔王」 作曲家の生涯、曲について(特にリート)、感想文
2学期	中間	①日本基督教団出版局「賛美歌」 ②音楽の友社「子供のためのソルフエージ 1a」 ③教育芸術社「中学生の音楽1」 ④ドレミ出版「大人のためのピアノ教本」	①授業の導入での賛美歌斉唱 ②4小節の聴音課題および小テスト(ピアノの音で聴き取る練習) ③「朝の風に」(教科書)・・・歌唱実技テスト ④1学期の実技テスト後に指定された曲 ・・・オルガン実技テスト課題 ⑤(伝)八橋検校作曲「六段の調べ」 作曲家の生涯、箏、流派の違い、感想文
	期末	①日本基督教団出版局「賛美歌」 ②教育芸術社をはじめとする、多くの合唱教材から選択	①授業の導入での賛美歌斉唱 ②2月の合唱祭に向けた課題曲と自由曲練習 指揮者・伴奏者・リーダー(クラス全体リーダーとパートリーダーの選出)
3学期	学年末	①教育芸術社をはじめとする、多くの合唱教材から選択	①2月の合唱祭に向けた課題曲と自由曲の練習 および2月実施の合唱祭本番 合唱祭課題曲(自由曲)の歌唱実技テスト(合唱祭後) ②1年間の復習と補足

年間指導目標	音楽をする楽しさだけではなく、さらに感受性を養っていく
--------	-----------------------------

学期	時期	使用教材	学習内容
1学期	中間	①日本基督教団出版局「賛美歌」 ②音楽の友社「子供のためのソルフエージ 1a」 ③教育芸術社「中学生の音楽2・3上」 ⑤ドレミ出版「大人のためのピアノ教本」 (個別のグレードでの教材) ⑥その他、必要とした教材プリントなど	①授業の導入での賛美歌斉唱 ②4小節の聴音(1年の復習と四分休符の追加)および小テスト ③「夢の世界を」(教科書)・・・歌唱実技テスト ④グレード別の指定曲・・・オルガン実技テスト (オルガン教室時の授業を毎回テスト受験可能とし、次々に指定される曲をこなしていく。最低1曲は必ず受験、2曲目以降は任意受験とする)
	期末	①日本基督教団出版局「賛美歌」 ②音楽の友社「子供のためのソルフエージ 1a」 ③教育芸術社「中学生の音楽1」 ④ドレミ出版「大人のためのピアノ教本」	①授業の導入での賛美歌斉唱 ②8小節の聴音課題および小テスト ・・・二分音符、1点ハ～1点イまでの音の範囲での記譜 ③「夏の思い出」(教科書)・・・歌唱実技テスト ④グレード別の指定曲・・・オルガン実技テスト(オルガン教室授業時は毎回受験可能) ⑤J. S. バッハ作曲「フーガ」 作曲家の生涯、曲について(特にフーガ形式やパイプオルガン)、感想文
2学期	中間	①日本基督教団出版局「賛美歌」 ②音楽の友社「子供のためのソルフエージ 1a」 ③教育芸術社「中学生の音楽1」 ④ドレミ出版「大人のためのピアノ教本」	①授業の導入での賛美歌斉唱 ②8小節の聴音課題および小テスト ・・・二分音符、一点ド～二点ドまでの音の範囲での記譜 ③「夏の贈り物」(教科書)・・・歌唱実技テスト ④グレード別の指定曲・・・オルガン実技テスト(オルガン教室授業時は毎回受験可能) ⑤ベートーヴェン作曲「交響曲第5番」 作曲家の生涯、曲について(特にソナタ形式、交響曲、オーケストラなど)、感想文
	期末	①日本基督教団出版局「賛美歌」 ②教育芸術社をはじめとする、多くの合唱教材から選択	①授業の導入での賛美歌斉唱 ②2月の合唱祭に向けた課題曲と自由曲練習 指揮者・伴奏者・リーダー(クラス全体リーダーとパートリーダーの選出)
3学期	学年末	①教育芸術社をはじめとする、多くの合唱教材から選択	①2月の合唱祭に向けた課題曲と自由曲の練習 および実施の合唱祭本番 合唱祭課題曲(自由曲)の歌唱実技テスト(合唱祭後) ②1年の授業の復習と補足

年間指導目標	1年、2年の体験を活かし、表現、感受性の向上を発展させ、3年間のまとめをさせる。
--------	--

学期	時期	使用教材	学習内容
1 学 期	中 間	①讃美歌、 ②8小節のソルフェージュ ③教育芸術社 「中学生の音楽2,3下」	①讃美歌を導入に使用し、讃美歌を歌う習慣をつける。 ②8小節の聴音課題を毎時間実施し、定期的にテストを実施する。 ③教科書「花」をソプラノパート、アルトパートを全員で歌い、男女ともに両パート歌い、試験を実施。言葉の意味や詞の情景を説明し現代の隅田川の様子と比較させる。作曲者、作詞者活躍した年代や生涯、作品を説明する。日本では大変ポピュラーな曲だけに、題名を間違っている場合が多いので、題名を正しく記憶させる。
	期 末	①讃美歌、 ②8小節のソルフェージュ ③④教育芸術社 「中学生の音楽2,3下」	①讃美歌を導入に使用し、讃美歌を歌う習慣をつける。 ②8小節の聴音課題を毎時間実施し、定期的にテストを行う。 ③鑑賞曲「ブルタバ」を聴き、オーケストラが表現する曲の情景について学習させる。この曲が出来た時代背景や作曲者の生涯について説明し、作曲者の思いを感じ取らせる。 ④様々なポピュラー音楽を聴き比べ、リズムや音色、旋律、音の重なりなどの特徴を感じ取らせる。
2 学 期	中 間	①讃美歌、 ②8小節のソルフェージュ ③教育芸術社 「中学生の音楽2.3上」 「中学生の音楽2.3下」	①讃美歌を導入に使用し、讃美歌を歌う習慣をつける。 ②8小節の聴音課題を毎時間実施し、テストを定期的に実施する。 ③「花の街」を歌い、日本の歌の美しさを感じ取らせる。詩にこめられた思いを説明し、修学旅行（広島）での学習と照らし合わせて歌わせる。曲の情景が、旋律・強弱にどのように生かされているか学習させる。 ④ヴェルディ作曲「アイーダ」第2幕第2場 作曲家の生涯、曲について（特にオペラの知識）、感想文
	期 末	①讃美歌、 ②8小節のソルフェージュ ③教育芸術社をはじめとする、多くの合唱教材から選択	①讃美歌を導入に使用し、讃美歌を歌う習慣をつける。 ②8小節の聴音課題を毎時間実施し、テストを5回実施する。 ③各クラス、課題曲、自由曲の練習をし、2月の合唱祭に向け、各時間、パート練習を確実にして合唱曲を仕上げていく。
3 学 期	学 年 末	教育芸術社をはじめとする、多くの合唱教材から選択	各クラス、課題曲、自由曲の練習をし、2月の合唱祭に向け、各時間、パート練習を確実にして合唱曲を仕上げていく。音楽の時間のみならず、放課後各クラスでの練習をし、クラス作り、協調性を学ばせる。また、本番では音楽会のマナー、舞台に立つことの緊張感や喜びを学ばせる。

年間 指導 目標	音楽の授業を通じて自己表現、感受性の向上を目指すと共に、日常生活に必要な力（暗記力、集中力）を身につける。
----------------	---

学期	時期	使用教材	学習内容
1 学期	中間	讃美歌 聴音書き取りの自習 高校生の音楽 I カワイ ドリマトーン メソード Book1～Book3	①讃美歌を毎時間導入に使用し、讃美歌を歌うことの意味、大切さを学習させる。 ②毎時間、聴音を実施する。記憶をさせた後、記譜をさせる。ト音記号、拍子、終止線の正しい書き方を学習する。 ③主要3和音のコードの読み方、電子オルガンでの弾き方を学習する。 ④電子オルガン(足鍵盤付き)の基礎から学習する。同時にポピュラー音楽の楽譜の読み方も学習する。
	期末	讃美歌 聴音書き取りの自習 高校生の音楽 I カワイ ドリマトーン メソード Book1～Book3	①讃美歌を毎時間導入に使用し、讃美歌を歌うことの意味、大切さを学習させる。 ②聴音を毎時間実施し、4週に1回の試験を実施する。(4分音符、4分の4拍子を中心) ③「さびしい檜の木」やなせたかし作曲を合唱し、原語による歌の響きを感じ、学習する。
2 学期	中間	讃美歌 聴音書き取りの自習 高校生の音楽 I カワイ ドリマトーン メソード Book1～Book3	①讃美歌を毎時間導入に使用し、讃美歌を歌うことの意味、大切さを学習させる。 ②聴音の指導により、記憶をすること、最後まで音を聴きとる事の大切さを学習する。 ③音楽史の大きな流れを学習し、古代、中世、ルネッサンス、バロックまで、一般常識の範囲(音楽的考察までいかない)で学習し、作曲家と作品を学んでいく。
	期末	讃美歌 聴音書き取りの自習 高校生の音楽 I カワイ ドリマトーン メソード Book1～Book3	①讃美歌を毎時間歌い、讃美歌を歌うことの意味、大切さを学習させる。 ②中間に引き続き、音楽史の大きな流れを学習し、古代、中世、ルネッサンス、バロックまで、一般常識の範囲(音楽的考察までいかない)で学習し、作曲家と作品を学んでいく。 ③聴音、オルガンに関しては、続きを確実に学習していく。
3 学期	学 年 末	讃美歌 聴音書き取りの自習 高校生の音楽 I カワイ ドリマトーン メソード Book1～Book3	①讃美歌を毎時間歌い、讃美歌を歌うことの意味、大切さを学習させる。 ②合唱曲「名づけられた葉」を歌いより幅広い学習をさせる。 ③電子オルガンの1年間のまとめに入るのと同時に、次年度に向けてのアレンジを説明し、幅広い分野の音楽を聴くことを学習させる